

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成22年7月15日 午後 1時30分 開会 午後 4時20分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 山口陽一 清水弘子 三澤龍夫 鈴木京子 奥津勝子 高橋英俊 浅輪いつ子 竹内恵美子 坂田よう子 柴崎 茂 土橋秀雄 渡辺順子
4 説明員	町長 三好正則 副町長 吉川重雄 鈴木総務課長 齋藤主査 相田政策課長 岩本財政課長 常松副技幹 仲手川環境経済課長 大井主事 矢野都市計課長 竹内副技幹
5 職務のため 出席した職員	局長 飯田 隆 書記 岩田隆吉
6 協議等の事項	(1) 議会交際費の要綱の制定について (2) 総合計画の意見について (3) 重要政策の選定について (議会基本条例第7条)
7 その他	

(1) 町長あいさつ

あいさつの中で、「津波対策訓練、災害時要援護者支援訓練の実施」、「総合計画審議会の開催」、「議長、副議長との情報交換会の開催」、「民間幼稚園選考委員会の開催」、「海水浴場開き」、「政務調査費の裁判判決」、「湘南地域市町連絡協議会市町長会議」、「住宅火災」、「2010年神奈川反核平和マラソン」、「町長と語り合う集い」、「職員採用試験の応募受付」、「神奈川県操法大会」、「平成23年に向けた施策に関する要望活動」、「なぎさの祭典」、「旧吉田邸再建基金募集活動」、「東京電力大磯クラブ跡地有効利用」に関する最近の町の動きの話があった（町長は所用によりあいさつ後退席）。

◎主な質疑

問. 裁判の内容は。また弁護士費用は。

答. 町民が議員の政務調査費に関して起こした2件の裁判で、いずれも原告の請求は棄却するとの横浜地裁の判決であった。また、弁護士に支払う報酬金は約200万円である。

※過去（5年から10年）の訴訟に関する資料の議会への提供は町側とも相談をして検討をすることにした。

(2) 町報告事項

ア プレミアム付き商品券について

今年度予定しているプレミアム付き商品券「歴史街道『ぶらり大磯』買い物券」発行事業についての説明があった。

◎主な質疑

問. 商品券の取扱店は。

答. 商工会に加入・未加入に関係なく町内の店舗等を予定している。

問. 抽選の方法は。また当選者にはどのように商品券を渡すのか。

答. 理事者等の立ち会いのもとでの抽選を考えている。また当選者には役場、国府支所、商工会で当選はがき・現金と引き換えに商品券を渡すことを考えている。

イ 歴史的建造物（大磯駅前洋館）保存活用について

平成22年6月にランドコム（株）から歴史的建造物（大磯駅前洋館）の土地を土地開発公社が購入、建物は町に寄附があったとの説明があった。なお、購入金額は1億5,000万円、建物明渡料は2,000万円。

◎主な質疑

問. 建物明渡し猶予期限、明渡料、明渡条件、使用損害金170万円と決めた理由は。

答. 明渡し猶予期限は予約の状況を考慮して、明渡料は交渉によって、明渡条件のこの限りではないはリース物件を想定、使用損害金は賃料

として町に入ってくる額である。

問. 明渡料の 2,000 万円の算定根拠は。また町は今後どのような活用を
考えているか。

答. 当初は 1 億 5,000 万円の話もあった。建物の固定資産税評価額が 1,700
万円であり意味合いは違うが、そのぐらいが限度かなということで顧
問弁護士が交渉をしていた。またこの間には第三者が 1 億 7,000 万円
で購入希望の手を挙げたということもあった。活用は、6 月 29 日の
政策会議で保存活用のプロジェクトチームの設置を決め、同日に会議
を開いて検討を始めた。

問. 土地開発公社からの買い替えは。現使用者の引き続きの使用は考え
なかったのか。固定資産税の課税額は。

答. 将来的には町が土地開発公社から購入する。賃借権を解消するた
めに明渡料を支払ったので、継続は考えていない。固定資産税は約 120
万円。

問. 6 月に購入した理由は。活用方法検討への町民のかかわりは。

答. 競売の執行を避けるため。建物の調査を今後行い公表をしていくの
で、この中で活用方法について町民のみなさんの意見を伺っていき
たい。

ウ 学校法人国際学園の財務状況について

学校法人国際学園の財政状況及び経営状況の税理士所見についての報
告があった。

問. 町は、これで財政状況等については大丈夫だという判定をもらった
と考えていいのか。またこれによって契約をしてお金は入ってきたの
か。財政諸表を議会に提供してもらいたいが。

答. 経営状況は健全だということで事務を進めていきたい。契約はまだ
していない。今後、理事会の決定を経て契約を結びたい。財政状況に
関する資料は学園側の了解が得られれば提供をしたい。

問. 本日、議会に財政状況等の報告があった。本日以降の理事会で決定
という経過でないとおかしいのではないか。

答. 国際学園へ議会への財政状況等の報告は済んだことを伝え、契約に
向けて協議をしていきたい。

問. 1 億 8,000 万円を支出することができる状況かどうかについての税
理士の所見は。

答. 確認はしていない。

エ 名誉町民の推戴について

横溝千鶴子氏に名誉町民の称号を贈ることを考えているとの説明があ
った。

問. 9月議会の議案となるのか。

答. 議案として予定している。

問. 名誉町民となるルール事項はあるのか。

答. 名誉町民条例に基づき、昭和55年に澤田美喜氏がなられている。

問. 議案に出して本人が辞退ということはないか。

答. 御本人の同意を確認する。また議員が全員賛成していただける形ができての提案を考えている。

意. 横溝氏の意思を大事にし町も後押しして生かすようにしてもらいたい。

オ アオバトを町の鳥として制定していくことについて

アオバトを町の鳥として制定していくとの説明があった。

問. 制定の手続は。

答. 町民のご意見募集、議会への説明、告示により制定をしていきたい。

意. 町が出している書き物の中にアオバトに関して誤った記述があるので、そういうことがないようにしてください。

カ 二宮町の一部スポーツ施設の利用について

二宮町の一部スポーツ施設が7月21日から二宮町民と同じ料金で利用できるようになるとの説明があった。

問. 利用できるようになった経緯は、

答. 二宮町のほうから突然に利用できますとの声をかけてくださった。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略

(4) 協議事項の結果

ア 議会交際費の要綱の制定について

「大磯町議会交際費の支出及び公表に関する要綱(案)」等について協議を行い、案のとおり決定した。

イ 総合計画の意見について

総合計画中期基本計画案に意見のある議員は今月末までに事務局に提出をする。

ウ 重要政策の選定について(議会基本条例第7条)

各常任委員会で所管の重要政策を決めていくことを再確認した。

(5) 報告事項

ア 委員長からの報告

・本日開催の議会運営委員会の概要・・清水議会運営委員会副委員長

報告

- ・ 7 / 6 協議会、7 / 8 鎌倉市視察、7 / 13 委員会の概要・・・柴崎総務建設常任委員会委員長報告
 - ・ 7 / 21 伊勢原市視察、7 / 23 委員会の概要・・・奥津福祉文教常任委員会委員長報告
 - ・ 7 / 21 勉強会・・・清水ごみ処理広域化検討特別委員会委員長報告
- イ 新湘南国道並びに大磯藤沢線（湘南新道）新設改良促進協議会について・・・山田議長報告

◎主な意見

- ・ 西湘バイパスの無料化によって東町への抜け道車両が多くなっている。地元の皆さん等と話し合っただ対応策を協議していく予定であるとの話が議員からあった。
- ウ 町長等懇話会について・・・山田議長報告
- ※東京電力大磯クラブ跡地見学の町からの提案については協議の結果、議会としては受けないことにした。
- エ 事務局から報告
- ・ 8 / 2 来庁の愛知県阿久比町議会は第3班が対応することになった。
 - ・ 議場傍聴席の転落防止柵は手摺タイプで進めることになった。
 - ・ その他に「政務調査費裁判判決」、「消防操法大会出欠席の確認」、「会議ノート購入希望」、「地域主権戦略大綱」、「8月の全協開催日」についての報告があった。